

医療用品06 視力表及び色盲検査表
 一般医療機器 特殊視力検査装置 70973000
コンパクト視力計 CA-2000

【禁忌・禁止】

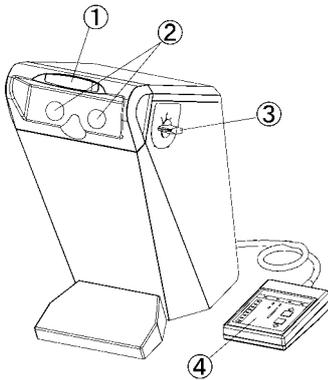
- ・本体の移動に際し、額当て部は持たないこと。
 [落下によるケガの原因になります。]
- ・ヒューズを交換する場合には、電源コードを抜いてから作業すること。
 [感電の原因になります。]

【形状・構造及び原理等】

<構成>

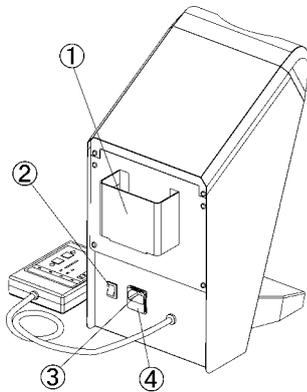
本体(コントローラー含む)

本体前面、右側面



額当て
 接眼部阿孔
 検査距離切換ダイヤル
 コントローラー

本体背面、左側面



コントローラーホルダー
 電源スイッチ
 電源インレット
 ヒューズホルダー

<電気的定格>

電源電圧：交流100V 50/60Hz
 電源入力：5VA + 15%以下
 電撃に対する保護の程度：B形機器
 電撃に対する保護の形式：クラス

<原理>

- ・被検眼から33cm離れた位置に視標が配置されている。その間にレンズを介することにより光学的に5mまたは50cmの検査距離を生成し視力検査を行う。
- ・立体視の原理は、左右の眼それぞれにほぼ同じ絵柄を見せる一方、その内一部の絵柄のみ意図的に左右に位置をずらすことで融像した際に立体感を生じさせる。

<寸法及び重量>

寸法：220mm(W)×275mm(D)×409(H)mm
 重量：6kg

詳細は「取扱説明書」の「仕様」を参照のこと。

【使用目的、効能又は効果】

一般健康診断の視力検査やVDT作業従事者の基本的な視機能のスクリーニングを行うことを目的とする。

【品目仕様等】

(1) 検査距離	5m、50cm、33cm
(2) 検査項目	
片眼視力検査	0.1～1.5(12ステップ) 1ステップ/1方向
両眼視力検査	同上
片眼低視力検査	0.02～0.07(4ステップ) 1ステップ/1方向
乱視検査	放射状正円15度刻み
立体視検査	4段階(視差：50秒、100秒、200秒、400秒)
遠視チェック	+0.5ディオプター加入
(3) 視標の精度	標準値の±10%
(4) 輝度	
試験領域の輝度	265±15cd/m ²
視標(黒地)の輝度	試験領域(白地)の15%を超えないこと
色温度範囲	2500～7000K
(5) コントラスト	74%以上

【操作方法又は使用方法等】

使用前準備

- (1) 電源を入れます。
- (2) コントローラーの検査項目表示灯の表示と、本体に提示視標が一致することを確認します。
- (3) 視標が見える位置で被検者の額を額当てに当てて、頭を固定します。

片眼の視力検査及び乱視検査の方法

- (1) 本体の検査距離切換ダイヤルで、検査距離(5m、50cm、33cm)を設定します。
- (2) コントローラーの検査項目選択スイッチ(上)または検査項目選択スイッチ(下)を押して、検査項目表示灯を「R 乱視 視力」の位置に設定し、右眼を検査します。
- (3) 右眼視力検査は、ランドルト環の切れ目の方向を1番から順に上下左右で被検者に答えてもらいます。
- (4) 右眼乱視検査は、ランドルト環の左側にある放射状の線視標を被検者に見てもらい、ハッキリまたは濃く見える線とボケて見える線がある場合は、その線の番号を答えてもらいます。
- (5) 次に、コントローラーの検査項目選択スイッチ(上)または検査項目選択スイッチ(下)を押して、検査項目表示灯を「L 乱視 視力」の位置に設定し、左眼を検査します。
- (6) 右眼の視力、乱視検査同様に左眼を検査します。

両眼の視力検査及び立体視検査の方法

- (1) 本体の検査距離切換ダイヤルで、検査距離(5m、50cm、33cm)を設定します。
- (2) コントローラーの検査項目選択スイッチ(上)または検査項目選択スイッチ(下)を押して、検査項目表示灯を「R+L 立体視 視力」の位置に設定し、両眼を検査します。
- (3) 両眼視力検査は、ランドルト環の切れ目の方向を1番から順に上下左右で被検者に答えてもらいます。
- (4) 立体視検査は、被検者に視標中央にある「 $\begin{matrix} \times & \times & \times \\ \times & \times & \times \end{matrix}$ 」を見てもらいます。「 $\begin{matrix} \times & \times & \times \\ \times & \times & \times \end{matrix}$ 」の位置関係を「手前」または「奥」の順に答えてもらいます。

片眼の低視力検査の方法

- (1) 本体の検査距離切換ダイヤルで、検査距離(5m、50cm、33cm)を設定します。
- (2) コントローラーの検査項目選択スイッチ(上)または検査項目選択

取扱説明書を必ずご参照ください

- スイッチ(下)を押して、検査項目表示灯を「R 低視力」の位置に設定し、右眼を検査します。
- (3) 右眼低視力検査は、ランドルト環の切れ目の方向を上下左右で被検者に答えてもらいます。
- (4) 次に、コントローラーの検査項目選択スイッチ(上)または検査項目選択スイッチ(下)を押して、検査項目表示灯を「L 低視力」の位置に設定し、左眼を検査します。
- (5) 右眼の低視力検査同様に左眼を検査します。

遠視チェック

- (1) 5mの視力検査の際、本体の検査距離切替ダイヤルで検査距離を+0.5Dに設定します。
- (2) 同様に視力検査を実施します。
- (3) 検査距離「5m」の位置と「+0.5D」の位置での視力を比較します。

使用後

- (1) 電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜きます。
- (2) ダストカバーをかけます。

【使用上の注意】

医用電気機器の使用上の注意事項

- 本装置は視機能のスクリーニングを目的としているため、正確な視力値の評価については眼科医の精密検査などを実施してください。
- 熟練した者以外は使用しないこと。
- 本装置を使用する前は、次の事項に注意すること。
 - 水や薬品のかからない場所に設置してください。それらが製品内部に入ると、感電や故障の原因になります。
 - 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所には設置しないでください。それらがこぼれたり、蒸発したりして製品内部に入ると、引火して火災の原因になります。
 - 電源の周波数と電圧、および許容電流値(または消費電力)に注意してください。それ以外の電源で動作させると、火災や感電の原因になります。
 - 電源プラグは必ず3芯プラグ用のアース付きコンセントに接続してください。故障で漏電した際、感電の恐れがあります。
 - 電源コードに重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
 - 電源プラグを奥まで確実に接続してください。接触不良を起したり、金属が触れたり、露出したプラグの端子にほこりがたまると、火災や感電の原因になります。
 - アースを正しく接続してください。アースを正しく接続しない場合、感電の恐れがあります。
 - 直射日光の当たる場所、高温・多湿の場所、ほこり・塩分・イオウ分などを含んだ空気などにより、悪影響を生じる恐れのない場所に設置してください。故障や誤動作の原因となります。
 - 傾斜、振動、衝撃のない、安定した場所に設置してください。正しい検査ができない可能性があります。また、転倒や落下により、火災や人身事故にいたる可能性があります。
- 本装置の使用中は、次の事項に注意すること。
 - 本装置にもたれかかったり、上から押さえつけたりしないこと。転倒し、故障やけがをする恐れがあります。
 - 装置および被検者に異常のないことを絶えず監視すること。
 - 装置及び被検者に異常が発見された場合は、直ちに検査を中止し、適切な措置を講じてください。
 - 本装置に、発煙、異臭、異常音などが発生した場合は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、本装置のお買い求め先または株式会社トーマコーポレーションにご連絡ください。
- 本装置の使用後は、次の事項に注意すること。
 - 電源プラグをコンセントから抜くときは、コード部分に無理な力を加えないように、必ずプラグを持って引き抜いてください。コード部分を引っ張ると、コード内の芯線が断線し、感電や火災の原因になります。
 - 保管場所については、取扱説明書の「保管について」の項に従うこと。
- 故障した時は直ちに使用を中止して、本装置のお買い求め先または株式会社トーマコーポレーションに点検、修理を依頼してください。

い。

- 本装置は改造しないこと。
- 本装置および部品は、必ず定期点検を行うこと。
- しばらく使用しなかった装置を再使用するときは、使用前に必ず装置が正常にかつ安全に動作することを確認すること。

その他「取扱説明書」の「重要な警告事項」を遵守すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

- 動作環境条件
 - 温度：+10～+40
 - 湿度：30～75%
 - 気圧：700～1060hPa
- 貯蔵・保管
 - 水や薬品のかからない場所に設置すること。
 - 直射日光の当たる場所、高温、多湿の場所や、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより、悪影響を生ずる恐れのない場所に設置すること。
 - 傾斜、振動、衝撃の無い安定した場所に設置すること。
 - 化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に設置しないこと。
 - 電源の周波数と電圧、および許容電流値(または消費電力)に注意すること。
 - 電源の状態(放電状態、極性など)を確認すること。
 - アースを正しく接続すること。

【保守・点検に係る事項】

日常の手入れ

- 使用しないときはダストカバーを被せてください。
- 長時間使用しないときには、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 本装置の清掃は柔らかい布でから拭きをしてください。汚れがひどいときには薄めた中性洗剤に浸して硬く絞った布で拭き、そのあと、から拭きをしてください。

その他保守・点検の詳細は「取扱説明書」の「保守・点検」を参照のこと。

【包装】

1台単位で梱包

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

株式会社トーマコーポレーション
愛知県名古屋市区則武新町二丁目1番33号
TEL(052)581-5321

取扱説明書を必ずご参照ください